

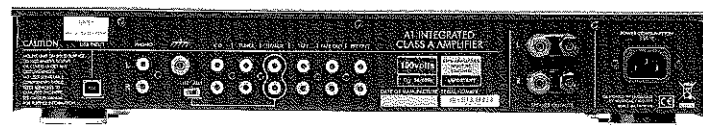


音色に温かみがありふくよかで心地よい。  
音楽をストレートに届ける闊達な描写

¥270,900

A1

ミュージカルフィデリティ



## SPECIFICATION

●出力：36W+36W(8Ω) ●入出力端子：フォノ(MM)入力1系統、ライン入力3系統(RCA)、録音入出力1系統、プリ出力1系統、スピーカー出力1系統 ●付属機能：HT(ホームシアター)入力切替、付属リモコン ●消費電力：130W ●寸法・重量：440W×77H×385Dmm・7.15kg  
■カタログ請求先：〒141-0022 東京都品川区東五反田1-14-9 ハイソックス&カンパニー(株)  
[カタログ請求・AUDIO BASIC]係 TEL. 03-5420-6432

80年代の半ばに登場して大ヒットしたA級プリアンプアンペアの傑作A1を、現代に甦えらせたモデルだ。資料では再生産を熟望する世界各国のA1ファンの声に応えての復活だという。スリムでスマートな独特のスタイルは初代を受け継ぐが、クオリティは復刻バージョン

引き出すことができる。高いスピーカーと組み合わせるのポインとなる。本機の良さをより多く引き出すことができる。

使いこなしは、できるだけ能率の高いスピーカーと組み合わせるのポインとなる。本機の良さをより多く引き出すことができる。

描き方はどちらかというと闊達なほうだ。楽器それぞれのディテールまで解像度高く細密に描写するといふより、音楽の全体像を丸ごと捉えてストレートに再現するタイプと言える。ジャンルはあまり選ばないが、得意と思えたのは、弦楽四重奏とピアノの艶やかで流麗なアンサンブルを実感的に聴かせてくれた「ます」。また、女性ボーカルの「ニッキ」も聴き応え十分。柔らかくしなやかな声でしつとりと歌って実に生々しかった。

ほのかな温かみを感じられるふくよかなサウンドがとても心地いい。サウンドバランスも好ましい。再生レンジを欲張って拡張する方向ではなく、ほどよい広さの帯域全体に音のエネルギーをまんべんなく詰め込んだような密度の濃いサウンドと感ずる。

のレベルを遙かに超えたと同社は胸を張る。

出力は36W+36W(8Ω)。入力端子はライン(アンバランス)4系統でMM対応のフォノ1系統も備える。出力端子にはプリアウトもあり、パワーアンプでのグレードアップにも対応する。

今回は試聴できなかったが、PCオーディオあるいは各種デジタル機器から入力した音楽も、素晴らしいサウンドで楽しませてくれることは想像に難くない。

その一方、そよ風の囁きのようなデリケートな情報を分解能高く、鮮やかに表出してみせるのも素晴らしい。音楽が内包する力強い面から繊細な部分までを鮮やかに描き上げることが出来る。だから「白鳥の湖」では、フォルティッシモとピアノッシモをバランスよく対比させて彫りの深い実体感に富んだ演奏となつて、たいへん見事。クラスを超えた好再現である。

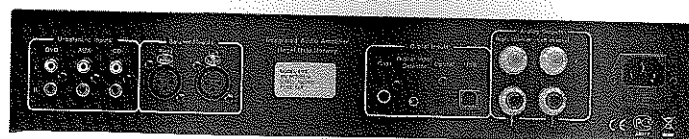
今回は試聴できなかったが、PCオーディオあるいは各種デジタル機器から入力した音楽も、素晴らしいサウンドで楽しませてくれることは想像に難くない。

ヘーゲル

H70

¥262,500

ダイナミックな響きと豊かな量感。  
彫りの深い実体感に富んだ演奏となる



## SPECIFICATION

●出力：70W+70W(8Ω) ●入出力端子：ライン入力4系統(RCA×3、XLR×1)、デジタル入力3系統(RCA同軸、TOS光、USB)、スピーカー出力1系統 ●付属機能：リモコン付属  
寸法・重量：430W×100H×420Dmm・11.84kg  
■カタログ請求先：〒171-0043 東京都豊島区要町2-19-6 (株)エレクトリカ[カタログ請求・AUDIO BASIC]係 TEL.03-3530-6276

ルウエーのヘーゲルが目指しているのは音楽録音時の音に何かを加えたり引いたりすることなく、言い換えればオリジナル音源をそのまま正確かつ自然に再現する製品作りである。

本機H70は同社の入門クラスに

あるモデルで、上位モデルと同じくそうしたコンセプトに基づいて開発されていることは言うまでもない。出力は70W+70W(8Ω)。先に発売の192kHz/24ビットD/AコンバーターHD110の技術を取り入れたUSB入力とデジタル入力(コネクタ/オプティカル)の装備が特徴となる。

まず感じるのは、優れた低音。例えて言うと、雷鳴の轟きのようなダイナミックな響きも量感豊かに、しかも歯切れよく弾むのでも実感的に聴かせる。これはウーファーを自在にコントロールしている証拠。そう、優れたドライブ力の持ち主なのである。

その一方、そよ風の囁きのようなデリケートな情報を分解能高く、鮮やかに表出してみせるのも素晴らしい。音楽が内包する力強い面から繊細な部分までを鮮やかに描き上げることが出来る。だから「白鳥の湖」では、フォルティッシモとピアノッシモをバランスよく対比させて彫りの深い実体感に富んだ演奏となつて、たいへん見事。クラスを超えた好再現である。

今回は試聴できなかったが、PCオーディオあるいは各種デジタル機器から入力した音楽も、素晴らしいサウンドで楽しませてくれることは想像に難くない。